

## ライフケアガーデン湘南 特定入居

**症 例 概 要**      利用者氏名：MY様（80代 女性 要介護1）  
利用期間      ：平成30年8月～現在  
自宅で1人暮らしをしたい強いお気持ちに対し、徹底的な傾聴と安心を、  
ご家族の協力をえて、各部署が連携し取り組み不安のない暮らしを第2の家として  
心豊かな生活環境を提供できた事例

### 内 容

整形外科病棟にて入院中計4回右股関節後方脱臼している方で常に装具着用し1人では装具の装着が難しく1人暮らしは困難な方です。入院する前は1人暮らしで急に右足が動かなくなり、食事が作れず脱水症状と栄養失調になりました近所の方が様子を見に家の中に入り発見に至りました、「病院へ行こう」と話をした所「行かない」と強く拒否され、近所の方が遠方に住んでいる息子様に連絡を取り本人様と直接話をされましたが足が動かなくなったことなどは話されず緊急時に使える安心電話も全くつかわれておりませんでした。息子様も詳しく本人の状態を知り、始めて深刻な状態とわかりました。ご家族様が見学の際に「過剰なくらい手厚く安心して母を見て頂ける施設を」とのことで当施設を選んで頂きました。

アセスメントの為、病院に行きご本人様とお話しする際も施設への入居に対しては、強い拒否が見られ全くお話しが出来ませんでした、息子様にも「退院したらまた1人で暮らすから心配しないで」と話をされ本人様の精神面を考えて、その日は終了する事にしました。後日息子様と相談し本人様にはリハビリを兼ねて自分で装具がしっかりと装着できるまでの間だけ施設に入る事のお話をして頂き、本人様も納得され入居して頂く事になりました。ご入居されてからは、ご自分のお部屋で過ごされることが多く表情も暗く口数も少ない状態で全く元気が無く、他のご入居者様との交流のお誘いも「私はそういうの苦手だから結構です」と話され皆さんの輪の中には入ろうとはされませんでした、当施設の理念としての"ご入居者ご家族が心豊かな人生を送る事が出来るような生活環境を提供します"には程遠くご家族様もこれで良かったのかと心を悩まされておられました。まずは本人様の不安を無くす事が本人様の心豊かな人生に近づく一歩だと考え介護、看護、PT、栄養、事務と連携し特別な介護手技ではなく基本に立ち返り、今何が一番必要かと考え、息子様からのお手紙を読み返し"母はしてほしい事があっても誰にも頼れない言えない"この本人様の気持ちを重要課題と考え徹底した観察と傾聴を繰り返しました、リハビリには意欲的な為、特にPTにはリハビリの際に悩み事がないか聞いてもらい、栄養課には食事の嗜好調査をこまめに行い本人様の好みに合ったお食事を出来る限り取り入れました事務には必要なものがないか出来る限りお話をしに来て頂き、皆で話せる機会を増やし時間はかかりましたが今では"1人で暮らしたい"の言葉も聞かれず、悩み事も相談して頂き、毎日笑顔で皆さんとレクリエーションや外食を楽しまれ話に花を咲かせておられお過ごしされています。

介護での生活リハ含めPTによるリハビリの成果もあり装具の使用も無くなり本人様も喜ばれております今でも脱臼することなくお過ごしされております

に対し、満面の笑顔とごあいさつでお出迎えをさせていただいております。

お体に不調が少ないこともあり、長くLCG湘南をご利用いただけるよう、今後も引き続き対応に当たりたいと思います。